

長岡京黎明の会

令和7年第一回議会（三月）

定例会では、令和7年度一般会計予算において、子育て支援や教育環境の充実、また公園整備、中心市街地の整備や公共交通施策の拡充の他、防災・防犯分野への予算配分の充実、住みよいまちとしての魅力向上などに、約422億円と過去最大規模の予算編成が行われました。慎重審査の結果、今後の取組に期待を込め、若干の意見・要

望を付して賛成いたしました。

総括質疑では『こどもの居場所の充実』と『福祉と教育、学術機関の連携による不登校対応・ひきこもり支援』に関して質疑いたしました。本紙に内容の一部が掲載されておりますので是非ともご一読ください。

議会改革特別委員会では「市民アンケート」などについて協議を進めました。

これからも、安心・安全で住んでいて良かったと実感できる長岡京市を目指して参ります。

富岡浩史・中村亮太

日本共産党

恒久的な市民負担軽減策を！

物価高騰がくらしを直撃しています。市は国の交付金も生かし5千円給付をしますが、国保料は2年連続の大幅引き上げ。「恒久的な市民負担軽減策を」と求めましたが、市長の答弁は前向きではありません。

一般会計予算は過去最大の422億円。新庁舎建設の工事費が大きな要因です。

前市長の最終年度に126億

円だった普通債残高は、313億円に。市債残高の増加は、中学校給食や公園整備など市民要望実現も含まれますが、今後40年で1350億円の学校建て替えや下水道管更新などの費用が見込まれます。さらに長岡天神駅周辺の大開発を行って財政は大丈夫でしょうか。日本共産党は、市民生活最優先の財政運営を求めました。

国民健康保険への国の支出増額を求める意見書、高額療養費負担増の白紙撤回を求める意見書を可決できました。（小）



会派の意見

文責は各会派にあります。

輝（かがやき）

令和7年第一回議会定例会に提案された第30号議案「令和7年度長岡京市一般会計予算」審議においては、長岡京市が住み手に選ばれるまちとなるよう各事業に対して意見や要望をし、議案に賛成しました。

一般質問では、5人全員が登壇しそれぞれ課題と考えている事に対して質問を行いました。

そして、予算審査常任委員会小委員会では、発言順で進藤議

員・干場議員・大伴議員が総括質疑を行い、行政側と議論を深める事が出来ました。

私達「輝」は、市政課題について行政側に意見反映を行い、全ての市民の皆様が居場所や出番があり、やさしさに溢れ、暮らしやすさを実感できるまちを目指し邁進してまいりますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

富田 達也・進藤 裕之
宮小路康文・干場志都恵
大伴 壘

公明党

令和7年度は第4次総合計画第2期基本計画の最終年度にあたり、一般会計予算は過去最大となる422億円、前年度比14・3%増。3月定例会では慎重に審査を行い可決しました。

保育所や学校施設の整備、こども家庭センターの設置等子育て・教育環境の充実が図られます。また、災害時のための同報系防災無線の整備・災害時要配慮世帯に自動起動ラジオの配布

や見守り機能付き防犯カメラの増設など、安全安心なまちづくりの対策がさらに拡充されます。今回の一般質問では教育と福祉の連携推進の取り組み、見守り機能付き防犯カメラ、GIGAスクール端末の更新、带状疱疹ワクチン定期接種化を、総括質疑では今後の課題と財政運営、上下水道事業、ごみの減量と適正処理について質疑致しました。これからも生活者目線で、住み続けたいまちづくりに邁進する決意です。

福島和人・石井啓子

平成西山クラブ

令和7年度予算は総額422億円、前年比約53億円増の過去最大規模となり、市税全体の伸び率においては前年比1割未満と大変厳しい状況です。確かにデジタル化や「NextGIGAスクール構想」に約5億円を計上し、教員が一人ひとりの児童生徒と向き合う時間の確保や「中学生短期留学に係る拡充と充実」は大切です。そして「高齢者施策のさらなる充実と、介

護人材不足」への対応は継続事業としての予算が充てられています。「老いることに付きまとう不安が和らぐ社会」を作っていくことも行政の役割です。また、物価高騰に対する支援は、国の対応待ちではなく、市民が暮らしやすさを実感できる施策こそが何より大切です。「未来への果敢な投資」を否定するものではありませんが、身の丈に合った財政規模を維持することも次世代への責任であることを申し述べ、会派の意見とします。

上村真造・白石多津子

平成自民クラブ

令和7年度予算は、令和八年十二月の新庁舎グランドオープンに向け、産業文化会館機能や保健センター機能、歴史資料展示室やにぎわい広場の建設事業が計上されました。また、長岡公園や西山公園、JR長岡京駅東口の再整備、こども家庭センター新設について賛成しました。さらに、大阪・関西万博に伴う観光戦略や農業分野での農地保全、農を通じた交流と地産地

消など商工・農業振興を図る予算にも賛成し、可決しました。

地球温暖化対策では新たな公

共施設に太陽光パネルの導入やLED化等によりゼロカーボンシティを目指す答弁を得ました。防災に関して長三小再整備で災害用井戸を整備する予算、また放課後児童クラブ施設の学校施設活用や長法寺小・長八小の施設立て替え計画を確認しました。今後みなさまと共に未来を描きしっかりと紡ぐ、まちづくりを推進していきます。

八木浩・中小路貴司

平成同志クラブ

令和7年度予算は422億円と過去最高の予算となりました。今年度は2期庁舎も完成し、令和8年度にはグランドオープンを迎えます。歴史資料展示室やにぎわい広場が新たな市民のコミュニケーションと憩いの場になることを期待しています。また公共交通施策の新規事業では、市営駐車場事業の余剰金を活用し、はっぴいバス更新などを用途とする基金の創設、公共

交通利用促進策、運転士確保に向けた事業者への助成など、地域公共交通の持続可能性において多角的に検討され課題を認識した内容となっていることを評価するところです。公共下水道では、下水道管の老朽化が原因と言われる道路陥没が各地で発生している中、市民の安心のために事故を未然に防ぐ十分な検討をお願いし、また、乙訓休日応急診療所の年末年始における長い待ち時間等の受診時間の改善策について要望しました。

田村直義・三木常照

長岡京未来の会

令和7年度の一般会計の予算総額は、過去最大であった昨年の約370億円を大きく上回る約422億円となりました。また、市の借金は、令和5年度で約367億円でしたが、令和7年度では、約425億円まで増加する見込みです。

この主な要因は、総額で118億円を超える新庁舎建設です。これから3小（約51億円）や長中の建替えなどが控えています。

臨時財政対策債が皆減となったにも関わらず、地方交付税が減額予想されており、財政的に厳しい行政運営を強いられる事となります。

これに加えて、自治会加入率が令和4年度から、毎年2・5%程度減少し続けており、令和6年度では加入率が45%になっている現状があります。本市でも「自治会サポ」を新たに取入れるとのことで、自治会運営のデジタル化の推進について、大いに期待をしています。

小谷宗太郎・川口良江

会派とは、同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。ここでは3月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。